



仏の世界を 覗いてみる

仏教アートに描かれた教え



日本で暮らす私たちの身近な日常にも、
仏教の教えがひっそりと息づいています。
しかし、その教えは奥深く、
難しく感じることも少なくありません。
そこで、昔から仏教の深遠な教えを
絵によって示す
「仏教アート」が生まれました。
仏教アートは、儀礼の中で重要な
役割を果たすだけでなく、
人々の心性を映し出すものでもあります。
今回は、仏教の世界がどのように
アートとして表現されてきたのかを、
皆様と一緒に覗いてみたいと思います。



※本チラシに掲載する画像は真福寺(大須観音宝生院)所蔵



〈ゲスト〉

かく かねい
郭 佳寧氏

名古屋大学大学院文学研究科
附属人類文化遺産テキスト学研究センター 特任准教授
名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。
名古屋大学大学院文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究セン
ター研究員、国際日本文化研究センター特任助教を経て、2023年4月より
現職。専門は中世日本の宗教文芸。

2025.

4.24

19:00-20:00 (ゲストトーク)

20:00-20:15 (Q&A)

参加費
無料

〔対 象〕 どなたでも(学生の方も歓迎)

〔セミナー申込〕 Zoomウェビナーにてお申し込み

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_zKNbGXdaQ-G-AEJtzP4fyg

〔視 聴 方 法〕 Zoomウェビナーにて開催

お申込みされた方にウェビナー視聴URLがメールで届きます。
PC、スマートフォンよりアクセスしてご視聴ください。

〔問 合 せ〕 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 outreach@t.mail.nagoya-u.ac.jp

